

2012 年（平成 24 年）度  
政府所有米麦管理業務に係る業務・システム最適化実施状況報告書

1. 政府所有米麦管理業務に係る業務・システムの概要

項 目	内 容
個別管理組織担当課室名	農林水産省生産局農産部貿易業務課
対象期間	2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日
最適化工程の段階	設計・開発段階（次期システム）、運用段階（現行システム）

2. 設計・開発、運用の各段階における最適化実施状況

(1) 設計・開発段階における最適化実施状況（次期システム）

ア 次期システムの設計・開発等に係る事業者の選定

（最適化の実施内容）

次期システムの設計・開発等に係る事業者の選定

（最適化の実施状況）

一般競争入札（総合評価落札方式）により、応札事業者から提出された提案書を技術審査委員会で審査した上で、事業者を決定。

- ・ 契約件名：次期システムの設計・開発に係る請負業務
- ・ 契約事業者：富士通株式会社
- ・ 契約期間：2012 年 6 月 25 日～2014 年 3 月 31 日
- ・ 契約形態：一般競争入札（総合評価落札方式）
- ・ 契約額：262,500,000 円（税込）

イ 設計・開発に係るスケジュールの策定及び推進体制の整備

（最適化の実施内容）

次期システムの最適化計画の実施に係るスケジュールの策定及び推進体制の整備

（最適化の実施状況）

設計・開発事業者決定後に発注者（貿易業務課）及び業者間で設計・開発に係るスケジュールを策定し、進捗管理を実施。

また、開発を円滑に進めるため、貿易業務課、事業者及びPMOを交えた定例報告会議を隔週で実施。同会議において作業の進捗状況のほか作業工程ごとの課題を関係者間で共有化。

(2) 運用段階における最適化実施状況

ア システムの運用

(最適化の実施内容)

2008 年から本格運用を開始した総合食料局情報管理システムを継続して運用し、政府所有米麦の売買・管理業務における事務の省力化等を推進する。

(最適化の実施状況)

- (ア) 受託事業体（政府所有米穀の販売等業務を委託する民間事業体で毎年選定）と契約した年度と異なる年産の米穀（輸入米、国内産米）を委託することとなり、契約年度に対して複数年産の米穀を管理するシステム機能改修を行ったことにより、受託事業体及び職員による米穀の年産と契約年度を分類する手作業が軽減された。
- (イ) 輸入米麦の販売に係る電子入札システムの落札結果と本船動向システムの情報（実需者別引渡実数量）を結合させる機能を追加したことにより、実需者の債権管理に必要な職員による契約単価登録操作が省略される等、業務の効率化を図った。

イ システム関連業務のアウトソーシング

(最適化の実施内容)

政府所有米麦情報管理システムの運用・保守業務を外部委託する。

(最適化の実施状況)

一般競争入札（総合評価落札方式）により、応札事業者から提出された提案書を技術審査委員会で審査した上で、事業者を決定。

① システム運用支援業務

- ・ 契約事業者：株式会社 N T T データ S M S
- ・ 契約期間：2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日
- ・ 契約形態：一般競争入札（総合評価落札方式）
- ・ 契約額：39,060,000 円（税込）

② システム運用保守業務

- ・ 契約事業者：富士通株式会社
- ・ 契約期間：2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日
- ・ 契約形態：一般競争入札（総合評価落札方式）
- ・ 契約額：28,350,000 円（税込）

ウ 運用管理

(最適化の実施内容)

システムの安定運用のため、運用支援業者等に、システム監視状況の結果等を定期的に報告させるとともに、障害を察知した場合は、機器の保守業者と連携を図って迅速に対処し、システム利用者への影響を最小限に抑える。

(最適化の実施状況)

業務・システム最適化計画指針（ガイドライン）（2006年（平成18年）3月31日 各府省情報化統括責任者（C I O）連絡会議決定）に基づき、運用支援業者等との間でサービスレベル合意書（S L A）を締結し、システムの運用管理

に当たって一定レベルのサービスの品質保証を確保した。

また、定期的（毎月）に定例会議（構成メンバー：CIO補佐官、情報評価課職員（管理課情報室職員）、システム企画班職員、運用支援業者等）を開催し、運用支援業者等からシステムの稼働状況等の報告を受けるとともに、年間評価会議（構成メンバーは定例会議に同じ。）を開催（9月、3月）し、年間を通じてSLAの達成状況の報告を受け、品質の妥当性を評価した。

3. その他  
なし

4. 添付書類  
・最適化効果指標・サービス指標一覧

最適化効果指標・サービス指標一覧  
(政府所有米麦管理業務)

1 最適化効果指標

(1) 最適化共通効果指標

①削減経費（単位：千円）

全体	初年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目	7年度目	8年度目	9年度目	10年度目	11年度目
	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
最適化実施前の経費(a)	1,550,570	1,550,570	1,550,570	1,550,570	1,550,570	1,550,570	1,550,570	1,550,570	1,550,570	1,550,570	1,550,570
最適化実施後の経費(試算値)(b)	—	—	—	1,046,219	1,018,511	1,018,511	1,018,511	1,018,511	1,018,511	304,105	304,105
削減経費(目標値)((a)-(b))	—	—	—	504,351	532,059	532,059	532,059	532,059	532,059	1,246,465	1,246,465
最適化実施後の経費(実績値)(c)	—	—	—	993,632	884,376	799,700	647,194	602,154	—	—	—
削減経費(実績値)((a)-(c))	—	—	—	556,938	666,194	750,870	903,376	948,416	—	—	—

②削減業務処理時間（単位：時間）

全体	2004年度	2012年度			
	最適化実施前の 業務処理時間 (a)	最適化実施後の 業務処理時間 (試算値)(b)	削減業務処理 時間(目標値) ((a)-(b))	最適化実施後の 業務処理時間 (実績値)(c)	削減業務処理 時間(実績値) ((a)-(c))
時 間	140,480	87,856	52,624	61,600	78,880
金額換算(千円) (3,125円/時間)	439,000	274,550	164,450	192,500	246,500